

2026 年 10 月 19 日

【SUPER GT 第 7 戦 / オートポリス レポート】

GT300 RUNUP × SOL GT-R が 予選クラス 28 位から大幅ポジションアップでチームベストの 2 位表彰台



SUPER GT 第 7 戦が大分県のオートポリスで開催。GT300 クラス予選 28 位からスタートした RUNUP × SOL GT-R(荒川麟選手／金丸ユウ選手／田中篤選手)がセーフティカー(SC)導入も味方につけ大幅ポジションアップに成功。地元の大声援を受けながら、チーム最高位となる 2 位表彰台を獲得した。

予選はクラス 28 番手となり、ほとんど最後尾からのスタートとなった RUNUP × SOL GT-R。もともと第 1 ステントは 40 周ほどに引き延ばす予定でいたというチームだったが、スタートを任された荒川選手は「ペースがいいのでもう少し引っ張れる」と訴え、結果的に 45 周、時間にして 1 時間 28 分とほぼレースの半分を走破しピットに戻ってくる。ここで金丸選手に交代し、給油とタイヤ交換を完了。その後、コース上で 1 台の車両がコースをはみ出しコンクリートウォールにヒットしてしまったことから SC が導入され、各車のギャップが縮まると同時に、ガソリンの消費も抑えられたことで一気に展開が有利に。レースが再開すると同時に 2 度目のピット作業に向かうが、ここではわずかにガソリンを補給するのみ。給油時間の短縮に加えタイヤ交換分の作業時間をカットできたことで、一気に事実上のトップに躍り出た。残り 1 時間を切ったころには、RUNUP × SOL GT-R よりも後のタイミングでピット作業を行い、比較的タイヤがフレッシュな 1 台が猛烈な勢いで追い上げてきたが、ロングステントでタイヤをいたわりたい金丸選手は

無理なバトルを避けてポジションを譲る。さらに、30 分を切ったところではもう 1 台ハイペースで追いかけてきたライバルが背後に迫ったが、残り時間も短く、これ以上のポジションダウンは避けたいと粘り強いブロックを見せた。1 秒を切る差の 2 台の戦いは 10 分以上続いたが、周回遅れの車両にわずかに引っかかったすきを突かれ、残り 10 分を切った 3 コーナーで逆転を許し、3 位でチェッカーを受ける。しかし、チェッカー後に 2 位のチームにペナルティが課され、RUNUP × SOL GT-R は繰り上がりの 2 位で表彰台に。チームオーナー兼第 3 ドライバーの田中選手にとっては地元九州での気合が入る一戦で、2020 年の第 7 戦の 3 位を超えるチーム最高位を獲得した。



GT500 クラスでヨコハマタイヤを装着する WedsSport BANDO H GR Supra(国本雄資選手／阪口晴南選手)は前戦 SUGO 大会に続き 2 戦連続で予選 3 位を獲得。決勝レースではスタートドライバーの国本選手が序盤はポジションをキープし、17 周目にタイヤ交換。第 2 ステントはタイヤとコンディションがマッチし、事実上の 4 番手でレースを進めていった。2 度目の SC 導入後、レースがリスタートを迎えたところでもう一度ピットイン。阪口選手に交代して第 3 ステントに入ったが、周回を進める中で未ピット組とのギャップが広がってしまい、オーバーカットを許してしまう。苦しい状況ではあったが、終盤は上位陣に匹敵するペースも披露。10 位でチェッカーを受け 2 戦連続で入賞を果たした。

■ 荒川麟選手 (RUNUP × SOL GT-R)

【今回の成績：GT300 クラス 2 位】

45 周というロングステントになりましたが、最後までタイヤがいい仕事をしてくれて、ペースが落ちませんでした。当初は 40 周ぐらいでピットに入る予定でしたが、パフォーマンスが落ちなかった所以少しステントを伸ばしたぐらいです。オートポリスはコース特性としてもタイヤが削られていくタフなサーキットなので、そのなかでこんなにいいペースを保てるの

かと感動しました。2020 年に 3 位を獲れて、今回は 2 位。あとは優勝だけなので、最終戦にそれを達成できるよう、さらに気を引き締めて頑張りたいです。

■ 金丸ユウ選手 (RUNUP × SOL GT-R)

【今回の成績 : GT300 クラス 2 位】

選んできたタイヤは少し柔らかいかなという不安はありましたが、荒川選手のペースを見て、想像していたほどではないと思いなおしました。前半は少しセーブしながらタイヤマネジメントをした結果、あのポジションにいられました。最初の 1 台はペースがとても速かったので無理にバトルしてタイヤを使うより、着実に表彰台を獲ろうという意識で走りました。2 台目に関しては、周回遅れとの交錯もあって抜かれてしまいましたが、結果的に 2 位を獲れて良かったです。

■ 田中篤選手 (RUNUP × SOL GT-R)

【今回の成績 : GT300 クラス 2 位】

予選は振るいませんでしたが、決勝では 2 人のドライバーが安定してペース良く走ってくれたことが結果につながりました。その走りで、SC のタイミングなどの運も引き寄せたのかなと。2 人がお互いに刺激しあっているからこそ得られた結果。地元での大切なレースでいい結果が得られてうれしいです。